

2023年9月

からし種

カトリック片瀬教会



あなたとともに

教会委員長 池尾昇治

私たちは、ミサの中で、「主は皆さんとともに。」との司祭の呼び掛けに「またあなたとともに。」と会衆として応答します。昨年の待降節以前は、「司祭とともに。」と唱えていました。なぜ、「あなた」になったのでしょうか。

日本カトリック典礼委員会の新しい『ミサの式次第と第一～第四奉献文』では次のように変更箇所が説明されています。

現行版の「また司祭とともに」の「司祭」は『祭儀を司る者』の意味で採用された訳でした。しかしながら、司教や助祭に対して唱えるときには違和感があるという意見があり、再検討されました。ラテン語規範版の直訳では「またあなたの霊とともに」となりますが、「あなたの霊」では身体を離れた靈魂を連想させるなど意味がつかみにくいいため、諸外国や他教派の式文も参考にして、これを聖書的語法に基づく全人的な表現と受け止め、「あなた」とする訳が採用されました。(P16 注2)

これを読んで、私は、「ふーん、司教や助祭が司式する場合もあるから汎用性を持たせたのか。」くらいに思っていました。7月23日の「交わりとしての教会をめざして」の読み合わせ会で久我神父様のお話を聞いてハッとしました。「この『あなた』には、神が入っているのです。コムニオ(交わりまたは一致)は見えない神の見える印なのです。私たちは秘跡に派遣されるのです。」というお話でした。

私たちは神とつながっている、その人たちが集まって神への奉仕のミサを捧げる、このような大事なことを意識してミサにでているのでしょうか。因みに「コムニオ」は「コミュニティ」に通じます。ブランチ神父様が「コミュニティ」という表現にこだわる意味もともに考えていきましょう。

2023年 9月度 教会委員会報告

開催日時：2023年8月20日(日)午前11時30分～12時30分

出席者：ブランチ神父、委員長、副委員長、副委員長、財務、典礼、宣教司牧、福祉、教会学校、
シヤトル聖パカ修道女会片瀬修道院

□ブランチ神父のお話

これからクリスマスまでの間、まず敬老のお祝いのことを考えて出来るだけ多くの人のお祝いができるように。特に教会へ来られていない方に連絡を取り、世話が必要な人のことも考えて下さい。

□報告および連絡事項

1. 委員長より、7月23日(日)11:30～12:25 久我神父による「交わりとしての教会をめざして」の読み合わせ会の報告があった。参加者はシスター3人含め約40人。共同宣教司牧を育てるために今後もこのような活動を続けていきたい。
2. 委員長より、7月23日(日)15:30～16:30 大船教会で行われた「第5地区伝える力を育てる部門」の報告があった。小教区で一人一人の受け皿を大切にしていくこと。求道者とともに歩む。入門コース担当者の養成で宣教には最低2名はいる。
3. 委員長より、8月5日(土)10:00～12:30 藤沢教会で行われた「第5地区キリスト教入門講座世話役の集まり」の報告があった。片瀬からは初めての参加。他教会は宣教司牧の力を育てていて講座が充実している教会が多い。片瀬も力をつけていくことが必要である。
4. 委員長より、8月5日(土)14:00～15:30 日本ナザレン教団 藤沢ナザレン教会で行われた。藤沢市内キリスト教連絡会主催「2023年 平和のための合同祈祷会」の報告があった。テーマは「二つを一つに」。YMCA含め12教会、51人が参加。片瀬からは3人しか参加がなかった。
5. 教会学校より、1) 第5地区教会学校サマーキャンプの報告。8月4～5日 二宮教会で。全体で約50人参加。片瀬からは子ども5人、リーダーとして中学生1人、大人1人参加。ロケーションも素晴らしく、子ども達は非常に楽しかった。2) 教会学校2学期は、9月3日から始まる。3) 9月24日(日)秋の遠足を予定。場所は山手教会。11:30からの山手教会の子どものためのミサに与る。4) 聖心の布教姉妹会のベトナムから来た2人のシスターが9月から第1、3週に日本語の勉強も兼ねて教会学校の世話をしてくださることになった。
6. 委員長(防火責任者)より、今年も消火設備点検を行う。
7. 委員長より、7月に合宿を行った川崎マックが合宿中にベンチ修理や植木の剪定等

をしてくれたので、礼状を出したところ、施設長から返信あり、先方も片瀬の信徒が感謝していることに喜んでいる、今後も年一回の清掃、剪定作業をして合宿を続けさせてほしいとのこと。これを機に貝塚教会との交流もできればいいとのこと。

8. 福祉部より、聖テレジア病院の小さき花の園で、コロナで中断していたボランティア活動を10月より再開すること。ボランティア内容等の希望を聞いて募集すること、片瀬からも多くの方がボランティアに参加してほしいとのこと。

□ 検討・決定事項

1. バザーに関するアンケート結果

- 1) 回答28件。Q1.今のままでよい 3件、Q2.やり方を変える 22件、Q3.バザーを止める 2件。不明1件。
 - 2) 上記結果から、バザーはフリーマーケット方式を核にした恰好でやる。日時は年間計画通り10月22日としてみる。
 - 3) 企画委員会を立ち上げる。第1回は8月26日(土)10:00。ルール作りや収益等を検討。
2. 9月18日(月)敬老の日に合わせ、17日(日)のミサで病者の塗油を行う。対象は78歳以上。最近コロナが再拡大しているようなので、大事を取って今年も会食は行わない。お祝いのカードを作って送ることにした。カードはガーデニングサークルの素晴らしい写真があるのでこれを使用する。送る時は、コミュニティの中でできるだけ手渡しをする。
3. トルコ地震支援金は信徒の募金が約8万円集まり、カリタスジャパンに送付済。これ以外に教会より10万円の支援金を送る。
また、7月の秋田豪雨災害で聖霊高校等床上浸水の復旧支援金の要請があり、信徒募金を始める。8月27日から福祉部で対応。
4. トイレの掃除は、一部の人がやるものではなく、信徒誰でもが出来るように用具があるところ、替えのタオルがあるところ等を明示して誰でもが使えるようにする。総務対応。

次回委員会開催 9月17日

2023年すべてのいのちを守るための月間 「正義と平和を大河のように」

日本のカトリック教会は、2019年に教皇フランシスコが来日して呼びかけられた「すべてのいのちを守るため」というメッセージの実践の一環として、毎年9月1日の「被造物を大切にす世界祈願日」から、10月4日のアッシジの聖フランシスコの記念日までを「すべてのいのちを守るための月間」として定め、2020年からこれを実施しています。これは同時に、世界規模のエキュメニカル行事「被造物の季節(Season of Creation)」に加わるもので、キリスト教諸教派が垣根を越えてともに祝い、活動を行っています。

今年の「被造物の季節」のテーマ「正義と平和を大河のように」は、アモス書5章24節の「正義を洪水のように、恵みのわざを大河のように、尽きることなく流れさせよ」から取られています。教皇フランシスコは、今年の「被造物を大切にす世界祈願日」メッセージで、環境に関するさまざまな不正義、たとえば化石燃料の無節操な消費と森林伐採が温暖化や水不足を引き起こしていることに触れたうえで、「貧しい人や次世代の子らに対するこの不正義を止めるために声を上げましょう」、「無数の細流や溪流のように、わたしたちもいずれは合流して一つの大河に流れ込み、この驚くべき地球のいのちと人類家族のいのちを、これから先何世代にもわたって潤せるのか——。手を取り合って、正義と平和の流れが地球全体に巡るよう、果敢に歩んでいきましょう」と呼びかけています。

—「ラウダート・シ」デスク 責任司教 成井大介 談話より抜粋—



聖母の被昇天

K. E.

8月15日(火)「聖母の被昇天」のミサが行われました。当初は、17時から聖母子像前での野外ミサ、ミサ後は「平和の祭り」懇親会が予定されていましたが、台風の影響で10時からの聖堂内でのミサのみと変更になりました。

朝から異常な蒸し暑さの中でしたが約50名が参列し、聖歌隊の清らかで敬虔な歌声による「み母マリア」で始まり、一同の心が一つになりマリア様に向かい、日々の感謝・戦没者への追悼・世界平和への祈りを捧げました。

ブランチ神父様のお説教に、聖母マリアの呼び名についてのお話がありました。「無原罪の御宿り」「神の母聖マリア」「人類の母」「天の元后」…など数多くある中で、神父様は「海の星である聖マリア」と「罪人のよりどころである聖マリア」…この二つを大切に思われていらっしゃるそうです。

一つ目の「海の星」とは、航海をする人々にとって大切な目印となるものですが、「海」を「人生」に置き換え、キリスト者の人生における「希望の星」「導きの星」としてマリア様の生き方をお手本として、いつも心に留めておかなければならないこと。

二つ目の「罪人のよりどころ」の「罪人」とは、私たち自身。罪人である私たちの祈りによって、慈悲深い母親であるマリア様は、皆が救われることを望んでくださること。この世を旅する私たち…困難や危険の中にある私たちが天国に到達するまで、愛情深く見守り配慮してくださるマリア様。

このような神父様のお話、また福音の「身分の低い、この主のはしためにも目を留めてくださったからです。」というマリア様の祈りから、改めて自分自身の日常生活を反省する一日でした。



2023年度 平和のための合同祈禱会 ～二つを一つに～

T. A.

8月5日（土）藤沢市善行にある日本ナザレン教団藤沢ナザレン教会にて、同教会満山浩之牧師の司式で「平和のための合同祈禱会」が執り行われました。

片瀬教会からは3名の参加があり、市内12のキリスト教教会より51名が集まりました。

今回、平和のための合同祈禱会に向けて他教会の方々と「平和」に向けて対話しながら準備を行いました。当日の祈禱会にて皆で「共に祈る」と私たち片瀬教会の信徒だけでなく市内のキリスト教信徒、そして世界の人々が「平和」について祈っていることに気づかされました。私にとっては大きな気付きであり、市内のキリスト教教会の方々と「一つ」になり「平和を求めて祈る」ことで「一致」を感じ、平和を求めている人たちに「平和の祈り」を捧げることができたように感じます。

ロシアのウクライナ侵攻など、今なお世界で行われる戦争。地球温暖化による気候変動。「すべての人の平和」を実現させるために私たちにできることは「何か」と考えさせられます。それは、自分以外の人を知ろうとすること、理解すること、様々な環境にいる人を理解し、思いやりを持って接することで、小さな「平和」ができ、その「平和の輪」を広げていくことだと思います。家庭の平和、学校の平和、教会の平和、地域の平和、日本の平和。神の創られた地球の平和。

これからも各キリスト教教会と共に平和に向けて祈り、互いの理解を深め、一歩ずつ平和を実現していけるよう、市内キリスト教連絡会での活動で「平和の輪」広げて行きたいと思います。

ここで市内キリスト教連絡会の活動をご紹介します。市内キリスト教連絡会では、市内のキリスト教教会の代表者が集まり、お互いの理解を深め、藤沢市のキリスト教を盛り上げるための活動を行っています。

大きなイベントが、3つあります。1月の「キリスト教一致のための合同祈禱会」、8月の「平和のための合同祈禱会」、12月の「藤沢市民クリスマス」です。これらのイベントでどのようなことを行うかを毎月話し合い、交流を行っております。もう50年ほど続けている活動です。カトリック片瀬教会からは、現在私1名で月1回の委員会に参加させていただいております。



教会学校合同サマーキャンプ報告

中高大生会 (K. M.)

私は2017年～2019年の約3年間サマーキャンプに毎年参加していました。2020年～2022年の3年間はコロナの影響で参加する事が出来なかったのですが、今年はコロナが緩和された事でサマーキャンプも実施され、宮國さんと共にリーダーとして参加することが出来ました。まだコロナも増えつつあるので毎年やっていたように2泊3日ではなく1泊2日でしたので、他の教会の友達と仲良くなれるかと心配もありましたが、班作りで名前を覚えるゲームをしてからは班のみんなと仲良くできたので良かったです。今回のサマーキャンプの行先はカトリック二宮教会で施設の窓から見える海がとても綺麗でした。私は今回の1泊2日のキャンプで1番印象に残ったことは1日目の夜に行った夜の散歩と花火です。この2つは今までのサマーキャンプでは必ず行っているもので、コロナ禍で行けなかった分も楽しめたとし、班の友達以外にも他の班の友達とも沢山話せたことが印象に残りました。来年のサマーキャンプでは県外の教会に泊まる事が出来ますようにと祈っています。



教会学校 ～夏の思い出がまた一つ～

教会学校リーダー (M. M.)

8月13日(日)この日は教会学校1学期最後の活動日という事で3年ぶりに、以前夏にはみんなで行ってた、江の島のサザエ島にカニつりに行く計画をたてておりました。ところが今年はこの猛暑、尋常でない暑さで、江の島まで歩いて行く事はもっと暑くない良い季節の時にしましょうという事をリーダーで話し合いました。それなら、15日の平和の祭りの懇親会もなくなってしまったので、教会のお庭でスイカ割をしてはどうかという事になり急遽予定を変更しました。ところが8月13日は天気予報では雨マークがついていました。スイカは注文してしまったので、雨だったら、信徒会館でスイカを食べるだけの会になってしまいそうでしたが、なんとかお天気ももって、スイカ割をする事が出来ました。

「もっと右～!」、「もちよっと前～」などの楽しそうな声が響きスイカが割れた時には拍手。その後割ったスイカとあらかじめ冷やしておいたスイカを教会にいらした方々と食べました。片付も全てが終わった後に雨がポツリポツリ、ドーと降ってきました。いつもいつも、神様ありがとうございます、また、一つ夏の思い出が増えました、と感謝しました。



コミュニティの集い 鵜沼B地区

T. K.

8月6日、主日のミサ後、鵜沼B地区(鵜沼海岸・本鵜沼を除く鵜沼全域)で、ようやく一年ぶりに3回目のコミュニティの集いを開く事ができました。ブランチ神父様がご不在で更に猛暑の続く毎日とあって出席者があるのか心配していたものの、14名の方々がお顔を合わせてくださいました。

折しも平和旬間の初日、平和の祈りのリレーを「平和を求める祈り」「フランシスコの平和の祈り」を中心に、地区の皆で心を合わせて祈りました。

時間が限られた中、自己紹介は名札に任せて省略。早速話し合いに入りました。進行係より「受洗のきっかけと現在の信仰について」のテーマで一人一人に話を向けられました。

幼児洗礼を受けた方々、ご夫妻で散歩の途中、片瀬教会に魅せられて洗礼を受けた方、また家族の中で自分だけが信者であるなど、受洗のきっかけや信仰への道は様々です。それぞれの事情や悩み等をざっくばらんに言葉にでき、温かい充実した会話となりました。地域の話になると皆でうなずき合い、ぐっと距離が近くなりました。

最後は、第2回目時に好評だった歌の時間です。マイケルさんのウクレレ演奏に合わせて楽しく歌います。黄色い本より2曲、アメリカではポピュラーなカントリーポップを聴き、言葉は分からなくても思わず身体がスウィングしてしまうようでした。人との繋がりに音楽は必須、との信条で鵜沼B地区コミュニティの集いは続けていくつもりです。

神に導かれた信徒同士がお互いに顔見知りになって言葉を交わすようになる「コミュニティの集い」の大切さを痛感したひとときでした。

◆お知らせ◆

- 「聖書と典礼」講座は、9/6(水)より、「入信講座」は、9/8(金)より、再スタート致します。今まで参加の方ももちろんのこと、新たに参加希望の方、大歓迎です。いずれの講座も午前10時から、信徒会館2階にて。
- 毎週金曜日のミサを継続しております。9時半より、是非ご参加ください。
- ガーデニングサークルのポストカードは、10時のミサ後売店で販売しています。どうぞ皆さまご利用ください。
- 9月30日(土)14時から、聖堂にて難民支援のためのチャリティコンサートが開かれます。詳しくは聖堂入口のチラシをご覧ください。
- 6～7月に実施したバザーに関するアンケートの結果、多くの方が従来のやり方と違ったやり方に賛成され、しかもフリーマーケット方式に賛同する方がほとんどでした。8月20日の9月度教会委員会で審議した結果、今年のバザーはフリーマーケットを主体にした形で実施することになりました。これから企画委員会により具体的な実施方法を策定します。
- 9月18日は敬老の日です。78歳以上の方々にお祝いカードを御配りします。また、17日(日)のミサの中で病者の塗油を行います。お祝いカードは、原則コミュニティ毎に配ってまいります。ご近所に住まわれている方、日頃お会いしている方、お友達等、手渡しで近況等お話しして頂けたらいいです。コミュニティ内でのご協力お願いします。

● 9月の典礼

3日(日)	年間第22主日	20日(水)	聖アンデレ金と同志殉教者
8日(金)	聖マリアの誕生	21日(木)	聖マタイ使徒福音記者
10日(日)	年間第23主日	23日(土)	聖ピオ(ピエトレルチーナ)司祭
13日(水)	聖ヨハネ・クリゾストモ司教教会博士	24日(日)	年間第25主日
14日(木)	十字架称賛	27日(水)	聖ビンセンチオ・ア・パウロ司祭
15日(金)	悲しみの聖母	28日(木)	聖トマス西と15殉教者
16日(土)	聖コルネリオ教皇 聖チブリアノ司教殉教者	29日(金)	聖ミカエル 聖ガブリエル 聖ラファエル 大天使
17日(日)	年間第24主日	30日(土)	聖ヒエロニモ司祭教会博士

● 今後の予定

1. 8月28～30日 横浜教区司祭大会(諏訪)
2. 9月3日(日) 教会学校2学期始まり
3. 9月7日(木) まりあ食堂
4. 9月17日(日) 教会委員会、福祉バザー
5. 9月24日(日) 第5地区教会委員長会議、共同宣教司牧委員会
教会学校遠足(山手教会)
6. 9月26日(火) 藤沢湘南ネットワークの教会見学
7. 9月30日(土) Renによるチャリティコンサート

2023年9月号

発行 カトリック片瀬教会

〒251-0035

藤沢市片瀬海岸2-2-35

TEL/FAX 0466-22-4646

<https://www.catholickatasechurch.com>